

植物工場プロジェクト

釈迦内産業団地にバイオマス発電施設を設置を計画している事業者と市内の農業者などが、今年4月、農業法人「バイテックファーム大館」を設立し、国の「強い農業づくり交付金」を受けて、発電施設の排熱などを利用して野菜等の周年栽培を行う、完全人工光型の大規模な「植物工場」を建設することとなりました。

このプロジェクトは、地域の農業者と異業種からの参入企業との共同による先進的な農業経営モデルとして、リーフレタスなどの野菜の生産に取り組みものであり、農業者の冬期間の所得の確保と、約40人の新規雇用が図られるなど、地域農業の発展に大きく寄与するものと期待しています。

地域経済・雇用対策

4月のハローワーク大館管内の有効求人倍率は0.98倍で、昨年同期と比較し0.18ポイント増加していて、引き続き高い状態で推移しています。

この春の新卒者の就職状況は、市内の高校、秋田職業能力開発短期大学校、秋田看護福祉大学の就職率がいずれも100パーセントでした。4年連続で全ての新卒者が就職できたもので、関係各位のご尽力に深く感謝します。

市では、求職者や在職者のスキルアップを支援する「資格取得支援事業」

や市の制度融資である「マル大」「マル大小口」などの支援策を始めとして、「匠のまち」実現に向けて、今後も中小企業の人材確保や競争力向上、経営の安定化を積極的に支援します。

また、発行総額6億円、プレミアム率20パーセントと過去最大規模の「プレミアム商品券発行事業」や市民税非課税世帯に5千円分の商品券を交付する「生活支援商品券交付事業」の実施により、市民の生活支援を通じて消費が喚起され、地域経済の活性化が図られるものと期待しています。



訪日教育旅行及び観光客誘客に向けたトップセールス

我が国を訪れる外国人観光客が近年特に増加していることから、大館市独自の観光PRを行うことで、市への外国人観光客増加による消費拡大と産業振興を図ります。

6月23日から25日までの期間、日本政府観光局主催の「ビジット・ジャパン台湾訪日教育旅行促進事業・現地説明会」が、台北市などで開催される予定で、教育旅行生を誘致するためのトップセールスを行います。

主に学校関係者が対象となるこの現

地説明会では、市と大館市まるごと体験推進協議会が取り組んでいる郷土料理や農家民宿などを活用した体験型旅行をPRするとともに、台北市内の旅行社などへのトップセールスも計画しています。

また、8月17日から22日までの日程で、秋田県知事がタイ王国、台湾で実施するトップセールスに同行することを計画しています。

タイ王国ではタイ国政府観光庁を訪問するとともに、タイ王国進出秋田県企業ネットワーク設立総会に参加し、進出企業との交流を図る予定です。また、台湾では現地航空会社を訪問し、県及び市のPRや経済交流拡大に向けた金融機関等との意見交換を行うなど、県と一体となって市への誘客拡大に取り組みたいと考えています。

教育大綱の策定

地方教育行政の組織及び運営に関する法律が今年4月1日に改正されたことを受け、5月28日に「総合教育会議」を設置し、市の教育の目標や施策の基本方針となる「教育大綱」を策定しました。

この大綱は「ふるさとに学び、未来を創造できる人財の育成」を基本理念とし、「信頼と安全を築く教育環境の整備充実及びスポーツ・レクリエーションの振興」「ふるさとに根ざし、自立の気概と能力を培う学校教育の創造」

「ふるさと」の誇りと文化をはぐくむ生涯学習の推進と支援」の3つを基本目標としています。

今後は、大綱の基本理念と目標を教育委員会と共有し、連携強化を図ることで、具体的な教育施策に反映します。



そのほかの報告

- ・平成26年度の決算見込み
- ・公共事業の発注計画等
- ・LED街灯設置費補助事業
- ・国民健康保険税の課税誤り
- ・環境マネジメントシステムの取り組み状況
- ・大館市エコプラザのオープン
- ・第30回全国健康福祉祭あきた大会
- ・第2次食育推進計画の策定
- ・農作物の生育状況等
- ・農業関係の雪害状況等
- ・大館市工場等設置促進条例に基づく指定工場の現況等
- ・大館能代空港の現況
- ・平成26年度の除雪状況
- ・第63回山田記念ロードレース大会
- ・チャレンジデー
- ・第19回日韓スポーツ交流事業・成人交歓交流
- ・扇田病院の眼科外来再開
- ・火災による死者多発への対応状況